福島県農林水産業振興計画に基づき令和８年度に実現すること

令和８年４月１日
農　林　水　産　部

参考１

東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化

生産基盤の復旧や被災農林漁業者の支援、復興の加速化、風評の払拭

○　原子力被災地域の復興に向けて営農再開の加速化と広域的な高付加価値産地の形成に向けた取組を支援します。
【営農可能な面積のうち営農再開した面積の割合　69%】


知事のトップセールス

○　福島ならではの強みをいかしたブランド化や販売棚の確保、情報発信によるイメージ向上の取組等を支援し、本県の基幹産業である農林水産業の復興を目指します。
【県産もも価格の回復状況　100】
※震災前の全国平均価格に対する県産もも価格の割合を100とした場合の令和７年度の水準

○　きのこ原木林等の再生と将来における原木の安定供給に向けた広葉樹林の再生を図るための取組を支援します
【広葉樹林再生着手面積　250ha】


広葉樹林再生事業施工地

需要を創出する流通・販売戦略の実践

農林水産物の安全と信頼の確保、戦略的なブランディング、消費拡大と販路開拓

○　県産農林水産物の魅力のＰＲや震災からの復興・再生の取組の発信により、一層の販路拡大をつなげるため、首都圏等の流通・小売・飲食・宿泊等流通事業者と県内生産者とのマッチングを支援します
【商談会等を通じたバイヤーとの成約件数　70件】

○　産地における安全性確保の取組を客観的に説明できる第三者認証GAP等の導入を推進します
【第三者認証ＧＡＰ等を取得している経営体数　1,360経営体】

ふくしまGAPチャレンジ

○　本県の漁業や水産物に対する理解の醸成を推進するなど、本県水産物の復興・再生の加速化を進めます
【「ふくしま常磐ものNAVI」への県産水産物を取り扱う飲食店、販売店の登録数　280店】

ふくしま常磐ものNAVI

多様な担い手の確保・育成

農林水産業の担い手の確保・育成、経営の安定・強化

○　就農支援情報の発信、受入体制の整備や雇用就農に向けたマッチング等により、新規就農者の確保・育成を図ります。また、就農相談や農業経営の改善、法人化等の助言・指導などを行うとともに、市町村等関係機関と連携しながら伴走支援を強化します
【新規就農者数　380名】
【福島県農業経営・就農支援センターにおける相談対応件数　1,200件】


農業体験中の懇談

○　林業研修拠点「林業アカデミーふくしま」において、担い手の育成や次代を担う新規林業就業者の確保・育成を行います
【新規林業就業者数　140名】

○　漁業の新規就業希望者を対象に行う漁業の現場での研修や、漁船・漁具の導入等を支援します
【沿岸漁業新規就業者数　10名】


林業アカデミーふくしま
長期研修状況

戦略的な生産活動の展開

農林水産物の生産振興、産地の生産力・競争力の強化

○　スマート農業技術の導入の加速化に向け、技術の実証から普及、人材の育成、広く活用できる仕組みづくりに至る総合的な取組を実施します
【福島県高精度測位システム（RTKシステム）の利用件数　180件】


ドローンによる
生育確認

○　スマート農業機器を備えた施設整備や遊休施設の再整備を支援し、持続的に発展可能な次世代の園芸産地を育成します
【革新的園芸技術導入支援地区数　4地区】

○　安定した畜産経営が行えるよう、畜産農家の暑熱対策の取組を支援します
【畜産暑熱対策機器等導入戸数　135戸】



県オリジナル品種
「福、笑い」

○　「福、笑い」や「福乃香」等の県オリジナル水稲品種を中心とした多様な米づくりを進めます
【福、笑い　作付面積　500ha】

生産基盤の確保・整備と試験研究の推進

農地集積・集約化の推進、農林水産業の生産基盤の整備、戦略的な品種・技術の開発

○　農業の競争力を強化するため、集積・集約化や農地の大区画化・汎用化等を図るための基盤整備を実施します
【ほ場整備の工事着手面積　300ha】

○　地球温暖化や農業者減少に伴う生産力の低下を解決するための技術開発を行います
【異常気象対策、省力化等研究成果数試験研究の成果　15件公表】


福島59号

活力と魅力ある農山漁村の創生

農林水産業・農山漁村の多面的機能の維持・発揮、快適な農山漁村づくり、地域資源を活用した取組促進

○　有機農業の拡大加速化に向けて個別農業者から地域における組織化等の支援を行うほか、県産有機農産物の魅力発信による消費拡大を図ります。
【有機農業に取り組む面積（県調査による）　365ha】


６次化創業塾
入塾式

○　農林漁業者等の所得向上と地域産業振興を図るため、地域産業６次化実践者の育成や多様な関係者が連携した商品づくりを支援します
【６次化の人材を育成する「ふくしま６次化創業塾」入塾生　40名】

○　中山間地域等のコミュニティや集落機能の維持のために活動する農村RMO（農村型地域運営組織）の形成に向けた取組を支援します。
【農村RMO形成支援組織数　４組織】

○　森林機能の維持・向上を図るため森林整備を推進するとともに、花粉の少ない森林への転換を進めます
【花粉の少ない苗木による植替え面積　50ha】


花粉の少ない苗木
による植替え

社会情勢に応じた対応

○　県外からの就業者確保及び農村関係人口の創出を推進します
【県外からの新規就農者数　70人】
【地域へのマッチング支援により創出された農村関係人口　300人】

○　大豆・麦・そば及び飼料作物の生産拡大の取組を支援します
【麦・大豆・そばの1ha以上の団地作付面積　4,655ha】
【飼料作物における耐暑性の強い新品種・品目等の導入面積　200ha】


大豆栽培の
団地化